

鍵穴（シリンダー）を交換して、安心した毎日を過ごしてみませんか？



突然ですが、鍵穴の種類には、いくつか種類があるのは、ご存知ですか。鍵穴の種類によって、侵入盗(空き巣)にこじ開けられるまでの時間に差があるようです。

万が一に備えて、
どうせなら、防犯性の高い鍵穴に変えておいた方が安心ですよ！

防犯性の高い鍵穴への交換は、プラスドライバー、マイナスドライバーがあれば、**自分でも**、ドアの本体を取り替えずにできます。ぜひ、内容をご確認ください。

鍵穴の種類には大きく分けて、2種類あります。

	昔の鍵	最近の鍵
鍵の先端	ギザギザ	くぼみ穴
形状	 ※ 図の寸法は例となります	 ※ 図の寸法は例となります
耐鍵穴壊し性能	5分未満の場合が多い	10分以上の場合が多い
防犯性	低い	高い

※ 耐鍵穴壊し性能：単位は分。工具などでシリンダー自体を破壊し、錠内部の機構を操作する方法による解錠を防ぐ性能

(出典) LIXIL 28年度版 窓ドアの性能基準カタログ(SJ7800)：ドア名ごとの性能が書かれてあります。

最近の鍵穴の方が、防犯性が高く、安心できますね！

また警視庁の調査によりますと、侵入盗(空き巣)の約7割は5分で侵入できなければ断念するそうです。



侵入に手間と時間をかけさせることで防犯対策ができるのですね。

最近のくぼみ穴形状の鍵穴だと、**鍵穴壊しに10分以上かかる**場合が多いので、より高い防犯対策ができそうです。

LIXILパーツショップでは、一部のシリンダー（鍵穴）の種類で、取替交換が可能な組み合わせを紹介させて頂いています。ぜひ、一度お試しください！